

SOCCER KING CUP
U-18フットサルトーナメント
2012

大会報告書

2011.3.24・25(日) 大洋薬品オーシャンアリーナ

【大会の趣旨】

高校生、クラブチーム所属選手などの幅広いU-18年代に向けたフットサルの普及発展ならびに競技力の向上を目指すとともに、フットサルを通じてプレーヤーおよび関係者の相互親睦を図ることで、日本の未来を担う青少年の健全育成を目指します。

この大会から、Fリーグで活躍する選手、さらには2016年・2020年のFIFAフットサルワールドカップでフットサル日本代表として世界と戦う選手が育つことを期待しています。

【開催概要】

- 大会名: サッカーキングカップ U-18フットサルトーナメント2012
- 主催: 株式会社フロムワン、株式会社シックス
- 後援: 一般財団法人日本フットサル連盟、北海道フットサル連盟、東北フットサル連盟、関東フットサル連盟、北信越フットサル連盟、東海フットサル連盟、関西フットサル連盟、中国フットサル連盟、四国フットサル連盟、九州フットサル連盟
- 協力: 財団法人愛知県サッカー協会、愛知県フットサル連盟、名古屋オーシャンズ株式会社
- 特別協賛: サッカーキング
- 協賛: 株式会社ナイキジャパン、株式会社日本ツアーサービス
- 日程: 2012年3月24日(土)、25日(日)
- 会場: 大洋薬品オーシャンアリーナ(愛知県名古屋市港区金城ふ頭2丁目7)
- 出場チーム: 大会主催者が各地域のフットサル連盟などの団体と調整し、原則として各地域から1チーム、計9チームを選出する。選出にあたっては直近の大会結果、過去の実績などを考慮する。
- 大会公式サイト: <http://www.u18futsal.jp/>
- その他 エキジビションマッチとして、各チームから2名を選出した大会選抜チームと名古屋オーシャンズの試合を実施。(20分ランニングタイム)



優勝:名古屋オーシャンズU-18
(愛知県)



準優勝:作陽高校(岡山県)



3位:松山工業高校(愛媛県)



4位:國學院久我山高校
(東京都)



5位:京都橘高校(京都府)



6位: VAIN FC伊達U-18
(北海道)



7位: A.Cアズーリ(宮城県)



8位:熊本県U-18フットサル選抜
(熊本県)



9位:日本ウェルネス高校 松本校
(長野県)

3月24日(土) 1次ラウンド

11:00	チーム代表者会議			
12:00	開会式			
12:30	(1) グループA	熊本県U-18フットサル選抜	vs	國學院久我山高校 [メインアリーナ]
	(2) グループB	名古屋オーシャンズU-18	vs	A.Cアズーリ [サブアリーナ]
13:20	(3) グループC	日本ウェルネス高校 松本校	vs	松山工業高校 [メインアリーナ]
	(4) グループB	A.Cアズーリ	vs	作陽高校 [メインアリーナ]
14:10	(5) グループA	國學院久我山高校	vs	京都橘高校 [サブアリーナ]
	(6) グループC	松山工業高校	vs	VAIN FC伊達U-18 [メインアリーナ]
15:00	(7) グループA	熊本県U-18フットサル選抜	vs	京都橘高校 [メインアリーナ]
15:50	(8) グループB	名古屋オーシャンズU-18	vs	作陽高校 [メインアリーナ]
	(9) グループC	日本ウェルネス高校 松本校	vs	VAIN FC伊達U-18 [サブアリーナ]

GROUP A	熊本県U-18フットサル選抜	熊本県U-18フットサル選抜	國學院久我山高校	京都橘高校	勝点	得点	失点	得失点差
	熊本県U-18フットサル選抜	★	-	-				
	國學院久我山高校	-	★	-				
	京都橘高校	-	-	★				

GROUP B	名古屋オーシャンズU-18	名古屋オーシャンズU-18	A.Cアズーリ	作陽高校	勝点	得点	失点	得失点差
	名古屋オーシャンズU-18	★	-	-				
	A.Cアズーリ	-	★	-				
	作陽高校	-	-	★				

GROUP C	日本ウェルネス高校 松本校	日本ウェルネス高校 松本校	松山工業高校	VAIN FC伊達U-18	勝点	得点	失点	得失点差
	日本ウェルネス高校 松本校	★	-	-				
	松山工業高校	-	★	-				
	VAIN FC伊達U-18	-	-	★				

※1次ラウンド:20分(前後半各10分)のランニングタイム

3月25日(日) 2次ラウンド



7位決定リーグ

9:00	(14)	グループAの3位	vs	グループBの3位	[サブアリーナ]
9:50	(15)	グループBの3位	vs	グループCの3位	[サブアリーナ]
10:40	(16)	グループAの3位	vs	グループCの3位	[サブアリーナ]

	A3位	B3位	C3位	勝点	得点	失点	得失点差
グループAの3位	★	-	-				
グループBの3位	-	★	-				
グループCの3位	-	-	★				

11:30	(17)	5位決定戦	[サブアリーナ]
13:00	(18)	エキジビション 名古屋オーシャンズ vs 大会選抜チーム(全チームから各2名を選抜)	[メインアリーナ]
13:30	(18)	3位決定戦	[メインアリーナ]

■1次ラウンド

グループA	京都橘	國學院久我山	熊本県U-18 フットサル選抜	勝	分	負	勝点
京都橘高校		●2-3	○5-1	1	0	1	3
國學院久我山高校	○3-2		●2-3	1	0	1	3
熊本県U-18フットサル選抜	●1-5	○3-2		1	0	1	3

グループB	名古屋オーシャ ンズU-18	作陽高校	A.Cアズーリ	勝	分	負	勝点
名古屋オーシャ ンズU-18		○4-2	○1-0	2	0	0	6
作陽高校	●2-4		○5-0	1	0	1	3
A.Cアズーリ	●0-1	●0-5		0	0	2	0

グループC	松山工業高校	VAIN FC伊達 U-18	日本ウェルネ ス高校 松本校	勝	分	負	勝点
松山工業高校		○1-0	○2-0	2	0	0	6
VAIN FC伊達U-18	●0-1		△1-1	0	1	1	4
日本ウェルネス高校 松本校	●0-2	△1-1		0	1	1	1

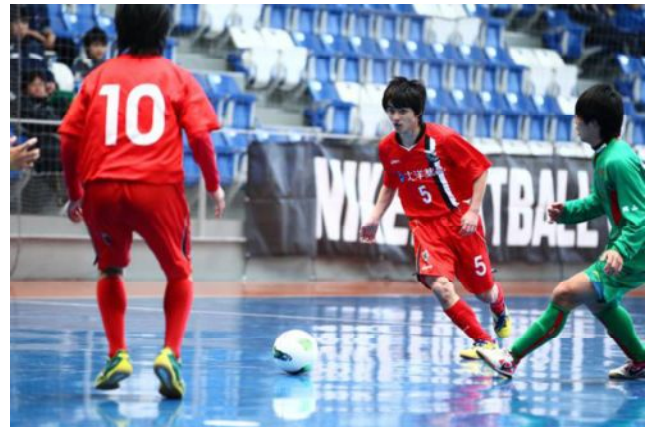
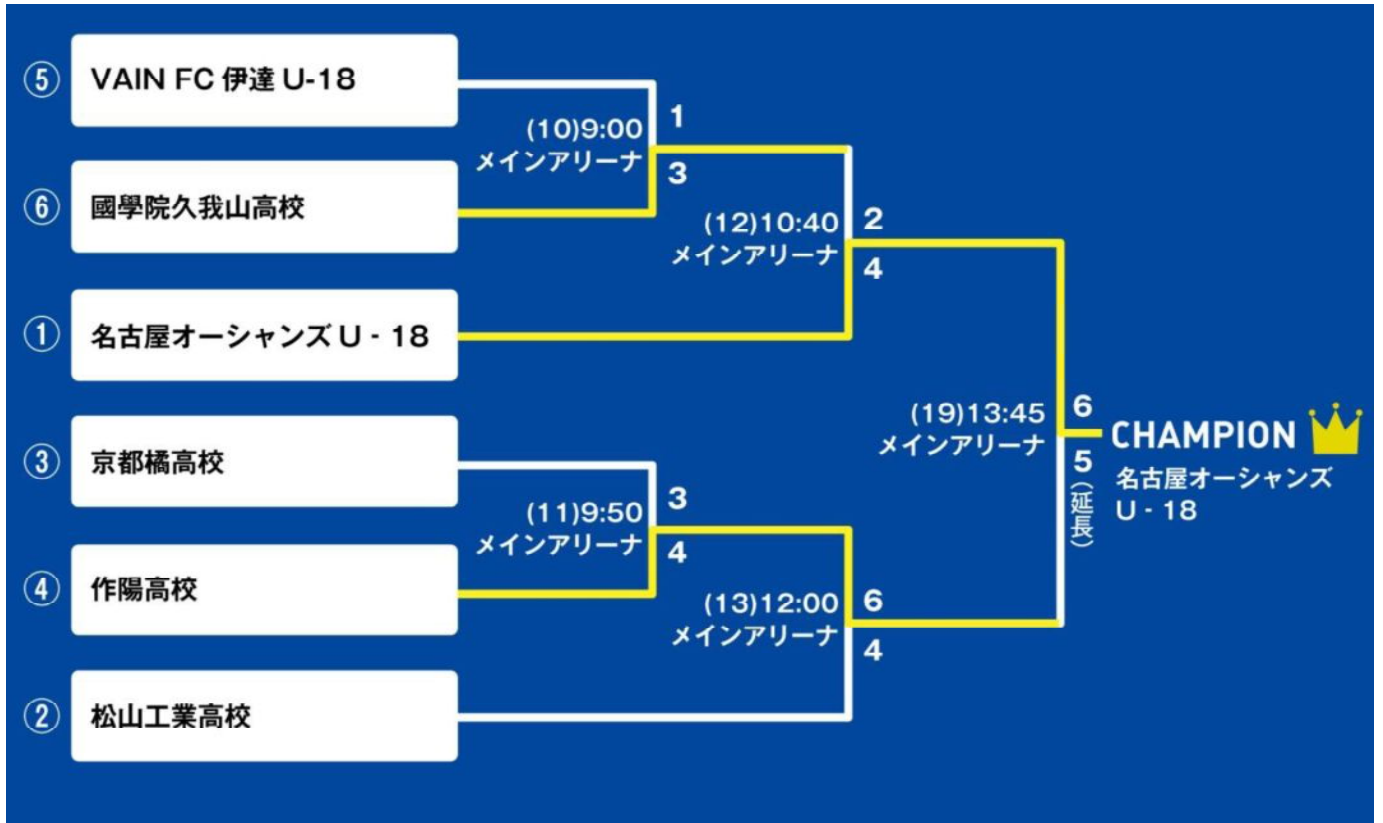
■2次ラウンド

7位決定リーグ	A.Cアズーリ	熊本県U-18フッ トサル選抜	日本ウェルネ ス高校 松本校	勝	分	負	勝点
A.Cアズーリ		○3-1	○3-1	2	0	0	6
熊本県U-18フットサル選抜	●1-3		○2-1	1	0	1	3
日本ウェルネス高校 松本校	●1-3	●1-2		0	0	2	0

3位決定戦 松山工業高校 3-0 國學院久我山高校

5位決定戦 VAIN FC伊達U-18 3-5 京都橘高校

■2次ラウンド



■1次ラウンド

NO.1	熊本県選抜 3-2 國學院久我山	
得点	前8分 森山 拓馬	前7分 木村 隆大
	前9分 岩本 将昴	後9分 大畑 圭輔
	前11分 横山 憲作	
警告	池上 敦也(反スポ)	

NO.2	名古屋オーシャンズ 1-0 A.Cアズーリ	
得点	前9分 八木 聖人	

NO.3	松山工業 2-0 日本ウェルネス	
得点	前7分 佐々木 勇太	
	前10分 白方 皓己	

NO.4	作陽 5-0 A.Cアズーリ	
得点	前6分 小野 彰大	
	前8分 中尾 和人	
	前12分 小野 彰大	
	前15分 小野 彰大	
	後13分 和田 一真	

NO.5	國學院久我山 3-2 京都橘	
得点	前4分 塩原 康平	後5分 内藤 郁也
	前5分 室井 晃希	後7分 今野 隆平
	前8分 劔持 琢磨	

NO.6	VAIN FC伊達 0-1 松山工業	
得点	前15分 渡邊 光	

NO.7	熊本県選抜 1-5 京都橘	
得点	後8分 岩本 将昴	前15分 今野 隆平
		後7分 今野 隆平
		前8分 田中 雄也
		後10分 内藤 郁也
		後15分 今野 隆平

NO.8	名古屋オーシャンズ 4-2 作陽	
得点	前5分 八木 聖人	前12分 増田 陣乃
	前13分 水野 拓海	後13分 小野 彰大
	前15分 平田 知寛	
	後10分 木島 悠斗	
警告	中村 紀昌(反スポ)	祖地 修人(ラフ)

NO.9	VAIN FC伊達 1-1 日本ウェルネス	
得点	斎藤 諒太	村上 航
警告	鈴木 侑助(ラフ)	
	小杉 知也(不正侵入)	

■2次ラウンド

NO.10	VAIN FC伊達 1-3 國學院久我山	
得点	前7分 青野 壮宏	前5分 石原 豪大
		前7分 大畑 圭輔
		後10分 室井 晃希

NO.11	作陽 4-3 京都橘	
得点	前0分 中尾 和人	前4分 内藤 郁也
	前3分 川添 亮吾	後13分 内藤 郁也
	前7分 増田 陣乃	後15分 内藤 郁也
	後17分 小野 彰大	
警告	祖地 修人(異議)	

NO.12	名古屋オーシャンズ 4-2 國學院久我山	
得点	前5分 水野 拓海	前0分 大畑 圭輔
	前10分 八木 聖人	後16分 白瀧 秀斗
	前10分イヴァハシルーカス ヒデキ	
	後13分 中村 紀昌	
警告	中村 紀昌(異議)	大畑 圭輔(反スポ)
	水野 拓海(繰返し)	
	平田 知寛(遅延)	

NO.13	松山工業 4-6 作陽	
得点	前5分 池内 直哉	前5分 小野 彰大
	前10分 佐々木 勇太	前7分 オウンゴール
	後5分 佐々木 勇太	前9分 小野 彰大
	後8分 佐々木 勇太	後9分 小野 彰大
		後10分 小野 彰大
		後13分 加藤 星馬

NO.14	A.Cアズーリ 3-1 熊本県選抜	
得点	後9分 真山 大輝	前11分 岩本 将昂
	後11分 和田山 晃世	
	後12分 川崎 来夢	

NO.15	日本ウェルネス 1-3 A.Cアズーリ	
得点	前5分 川地 学	前14分 吹田 仁
		前15分 大沼 史輝
		後11分 和田山 晃世
警告	小松 翔(反スポ)	

NO.16	熊本県選抜 2-1 日本ウェルネス	
得点	前12分 米村 直也	後11分 柏原 賢顕
	前13分 森山 拓馬	

NO.17	京都橘 5-3 VAIN FC伊達	
得点	前5分 吉田 和礼	前10分 齊藤 亮
	前4分 内藤 郁也	後8分 斎藤 諒太
	前8分 田中 雄也	後13分 斎藤 諒太
	後11分 内藤 郁也	
	後15分 内藤 郁也	

NO.18	松山工業 3-0 國學院久我山	
得点	前9分 田中 勇真	
	後2分 田中 勇真	
	後9分 佐々木 勇太	

NO.19	名古屋オーシャンズ 6-5(aet) 作陽	
得点	前 八木 聖人	前 オウンゴール
	前 三島 光太郎	後 中尾 和人
	前 三島 光太郎	後 中尾 和人
	後 平田 知寛	後 川添 亮吾
	後 八木 聖人	後 小野 彰大
	延長前 八木 聖人	

得点数 上位5名

- 10点 小野 彰大(作陽)
- 8点 内藤 郁也(京都橘)
- 6点 八木 聖人(オーシャンズ)
- 5点 佐々木 勇太(松山工)
- 4点 今野 隆平(京都橘)

- 名称： サッカーキングカップ U-18フットサルトーナメント2012
- 主催： 株式会社フロムワン、株式会社シックス
- 後援： 一般財団法人日本フットサル連盟、北海道フットサル連盟、東北フットサル連盟、
関東フットサル連盟、北信越フットサル連盟、東海フットサル連盟、
関西フットサル連盟、中国フットサル連盟、四国フットサル連盟、九州フットサル連盟
- 協力： 財団法人愛知県サッカー協会、愛知県フットサル連盟、名古屋オーシャンズ株式会社
- 特別協賛： サッカーキング
- 協賛： 株式会社ナイキジャパン、株式会社日本ツアーサービス
- 期日： 2012年3月24日(土)、25日(日)
- 会場： 大洋薬品オーシャンアリーナ(愛知県名古屋市港区金城ふ頭2丁目7)
- 参加チーム： 大会主催者が各地域のフットサル連盟などの団体と調整し、原則として各地域から1チーム、計9
チームを選出する。選出にあたっては直近の大会結果、過去の実績などを考慮する。
- 参加資格：
1. 2011年度または2012年度財団法人日本サッカー協会のフットサル個人登録およびフットサル
大会登録を行った1993年4月2日以降出生の選手により構成されたチームであること。
 2. 第1項のチームに登録された選手であること。
 3. 第1項に定めるチームには、1チームあたり4名までの外国籍選手の登録を認める。
ただし、当該外国籍選手は、IFTC(国際フットサル移籍証明書)により移籍が完了し、
出入国管理および難民認定法に定める在留資格を取得しているものとする。なお、
外国籍選手はピッチ上に2名を超えて同時にプレーをすることはできない。
 4. 引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。
 5. スポーツ安全保険に加入しているチームであること。
- 競技形式：
- 1次ラウンド：9チームを3チームずつ、3グループに分けてリーグ戦を行う。1次ラウンドにおける順
位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし順位を決定する。
勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定す
る。
- (1)勝点、(2)当該チーム間の対戦成績、(3)当該チーム間の得失点差
 - (4)当該チーム間の総得点数、(5)グループ内での総得失点差、
 - (6)グループ内での総得点数、(7)警告、退場のスコアがより少ないチーム
 - I . イエローカード1枚【1ポイント】 II . イエローカード2枚によるレッドカード1枚【3ポイント】
iii. レッドカード1枚【3ポイント】 iv . イエローカード1枚に続くレッドカード1枚【4ポイント】
 - (8)抽選
- 2次ラウンド：各グループの1位、2位の6チームによるノックアウト形式の1回戦、
準決勝、決勝を行う。また、3位決定戦、5位決定戦および7位決定リーグ戦を行う。
2次ラウンドは、1次ラウンド終了時点で各グループ1位の3チームの内、勝点合計の多いチームを
上位とし、対戦表を決定する。
ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
- (1)勝点、(2)グループ内での総得失点差、(3)グループ内での総得点数、(4)抽選
- 各グループ2位の3チームは各グループ1位の3チームの順位決定後対戦表を決定する。

各グループ3位の3チームで、7位決定リーグ戦を行う。7位決定リーグ戦における順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- (1)勝点、(2)当該チーム間の対戦成績、(3)当該チーム間の得失点差
- (4)当該チーム間の総得点数、(5)総得失点差、(6)総得点数、
- (7)警告、退場のスコアがより少ないチーム

- I. イエローカード1枚【1ポイント】
 - ii. イエローカード2枚によるレッドカード1枚【3ポイント】
 - iii. レッドカード1枚【3ポイント】
 - iv. イエローカード1枚に続くレッドカード1枚【4ポイント】
- (8)抽選

競技規定： 当該年度の財団法人日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。

1. ピッチサイズ：原則として36m×18m
2. 使用球：フットサル用ボール
3. 競技者の数
 - (1)交代要員の数：7名以内
 - (2)ベンチに入ることができる人数：10名以内(交代要員7名以内、役員3名以内)
4. 競技者の用具
 - (1)シューズ：靴底は接地面が紺色もしくは白色のフットサル用シューズのみ使用可能とする。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)
 - (2)すね当て：着用のこと
5. 試合時間
 - (1)1次ラウンド、2次ラウンド：20分間(前後半各10分間)のランニングタイム
準決勝、決勝：30分間(前後半各15分間)のプレーイングタイム
 - (2)ハーフタイムのインターバルは5分間とする(前半終了から後半開始まで)
6. 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝敗が決しない場合)
 - (1)1次ラウンド、2次ラウンドの7位決定リーグ：引分け
 - (2)その他：PK方式で決する。
 - (3)決勝戦のみ10分間(前後半各5分間)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式で決する。
 - (4)インターバルの時間：延長に入る前5分間、PK方式に入る前1分間
- 7.本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- 8.本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できずそれ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。

ユニフォーム： 1.ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)は正のほかに副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること(フィールドプレイヤー、ゴールキーパーとも)。
2.チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。
3.シャツの前面、背面に大会登録票に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。
4.選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。必ず本大会登録票に記載された選手固有の番号を付けること。
5.ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以降の変更は認めない。

その他： 1.大会登録票は必要事項を入力後、メール添付により3月21日(水)必着でデータ送信すること。
2.大会登録票に記載しうる人員は、1チームあたり24名(選手20名、役員4名)を上限とする。
3.上記1.のデータ送付締切り期日後の申込み内容の変更は一切認めない。
4.各チームの登録選手は、財団法人日本サッカー協会発行のフットサル選手証(写真を貼付したもの)を試合会場に持参すること。不携帯の場合は当該試合への出場を認めないことがある。
5.試合開始予定時間の60分前に、大会本部にてマッチコーディネーションミーティングを実施するので、チーム代表者はメンバー提出用紙と選手証およびユニフォームを持参し、出席すること。

大会終了後に、各チームの責任者(原則として引率者)に対してメールでのアンケートを実施し、全チームからの回答を得た。すべての設問に自由回答欄を設定し、記入を促した。

1. 開催時期

①今回同様(3月下旬)を希望する ②時期を変更してもらいたい:具体的に()月希望

→結果: ①:6件、②:3件
希望する月(各1件)・・・2月、3月中旬、1月

・この時期以外だと、サッカー選手は難しくなり、結果として底辺の拡大が難しくなると思います。ユース年代(高校サッカーを含む)のサッカーとフットサルが譲り合い、年間スケジュールを組めるには10年以上の時間がかかると予測し、現段階ではこの時期しかないと考えます。(國學院久我山)
・高校サッカーチームとしては既存の大会であるインターハイ、プリンスリーグ、選手権のスケジュールを考え、今回の3月下旬がベストです。春休み期間中ということもあり大会会場への移動や選手のコンディション面からもこの時期を希望します。(松山工)

2. 開催会場

①今回同様(オーシャンアリーナ)を希望する ②別会場を希望する:具体的に()

→結果: ①:9件

・オーシャンアリーナを変えないことが歴史と、伝統を刻んでいくと期待します。(國學院久我山)
・交通の利便性や、全国から集まるという距離の公平性からオーシャンアリーナはベストであると考えます。フットサルをする者の聖地として位置づけられればと思います。

3. 予選大会

今後、サッカー協会、フットサル連盟などと連携して、県・地域でのU-18大会開催を行う可能性。

①都道府県で開催可能 ②地域で開催可能 ③わからない

→結果: ①:2件、③:7件 ①と回答したチーム:熊本選抜、日本ウェルネス

4. 競技規定

今回の大会要項(参加資格、登録人数、競技規定など)について。

①特に問題なし ②変更を希望する:具体的に()

→結果: ①:9件

・今回は柔軟な対応にまず感謝します。この手の大会は本来の目的を逸脱するほど厳しい場合がありますが、今回の本部対応、判断はパーフェクトだったと思います。しいていうと、次の点への配慮も必要かと思えます。全国から集まるのであれば、「登録人数は自由」とし、ベンチ入りを制限したらいかがでしょうか。万一、25人いた場合、5人は高額な旅費をつかって名古屋に集まり、かつ登録できないことになります。もし、制限するのであれば、早期に(できれば地区予選時にそのことを「全国大会の参加条件」としておかないといけないと思います(國學院久我山))
・松山工業高校は予選なしで本大会参加させていただきましたが、四国においても何らかの形で予選を実施し代表チームを選出できるようにはたらきかけていきたいと思えます。(松山工業)

5. 試合時間

試合数、試合時間について(準決勝・決勝は15分プレーイング、その他は10分ランニング)

①特に問題なし ②変更してもらいたい:具体的に()

→結果: ①:7件、②:2件

- ・プレーイングの採用を予選からお願いしたい。(日本ウェルネス)
- ・予選の試合時間を出来れば15分のランニングにさせていただくと12名の選手全員に十分経験させられる。(熊本)
- ・良く研究され、どのチームにもある程度満足できるものと思います。(國學院久我山)
- ・エキシビジョンマッチについてですが、もし可能であれば決勝戦終了後に行うことを希望します。エキシビジョンマッチは選手にとっても指導者にとっても貴重な経験であり、この機会を与えていただいたことにとっても感謝しています。ですが、やはり選手たちにはフィジカル面からもメンタル面からも本大会の試合に集中して戦わせてやりたいと思います。(松山工)

6. その他問題点

来年以降も出場するとすれば支障となる課題がありますか。

①特にない ②課題がある:具体的に()

→結果: ①:8件、②:1件

- ・予選のタイミングと全国大会の日程調整(京都橘)

7. その他 その他、自由に感想、ご意見をお書きください。

・旅費補助金があったのは大変助かりました。また、お弁当の手配等もお気使いいただきありがとうございました。また、来年お会い出来るよう頑張ります。(熊本)

・フットサル普及、ユース年代の活性化、サッカーとの価値ある融合等、課題はたくさんありますが、この度お会いできた仲間達と出会えて、何か楽しみが増え生きがいも広がったように思います。今後もささやかながら後方から応援させていただきます。この度はありがとうございました。(國學院久我山)

・昨日神奈川に遠征して、武相の先生と話しましたが、神奈川でも目標にしていたようです、是非地域差の枠数をお考えください。(日本ウェルネス)

・今大会は非常に楽しみにしていた大会で、期待以上の運営、演出だったと思います。(VAIN FC)

・今大会、参加させていただきましてありがとうございます。おかげ様で選手にとっても私自身にとっても貴重な経験ができましたし自信もつきました。今後フットサルを盛り上げていくためには日本協会が各地域にU18フットサルを奨励し、各地域で予選から全国大会へという流れが必要であると感じています。また新聞やテレビなどメディアに取り上げてもらいサッカー同様世の中に対して露出していくことも重要であると思います。個人的には、U15世代の大会や指導者ともっと関わり、U18へのスムーズ流れをフットサルでしっかり作っていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。